

『基本判例から民事訴訟法を学ぶ』

(M.M・法科大学院生)

民事訴訟法に苦手意識があり、判例学習を欠いてきたという自覚もあったため、『基本判例から民事訴訟法を学ぶ』という本書のタイトルに強く惹かれました。

1 つのテーマにつき 10 頁前後でとっつきやすく、スラスラ読めるので隙間時間に少しずつ読み進めて数週間で通読できました。また、ソフトカバーが持ち運びに便利で、移動時間に読めるのも良かった点です。

本書を読んだ感想として、とにかく丁寧で、初学者や民訴法に苦手意識を抱える読者を置いて行かないようにする工夫が随所に施されていると感じました。本書は、各テーマで最初に必ず用語の定義・意義を確認し、それをイメージしやすい言葉や状況でコンパクトに説明してくれるので、この 1 冊で民事訴訟法の基礎的な理解が深まりました。また、判例を読むにあたっては、その問題意識や議論状況を丁寧に確認するので、判決文の注目すべきポイントがわかるようになっており、判決文と解説を行ったり来たりすることなく読むことができました。そういうことだったのかというポイントがいくつもあり読んでとても楽しかったです。初学者にも、ある程度学習した人にも幅広くおすすめできる本だと思いました。